



東俣野

1月号

東俣野小学校 学校だより

平成28年1月7日



食事のあいさつは感謝の心

校長 村田 幹男

あけましておめでとうございます。

皆様にとって素敵な一年になりますように。

12日間の冬休みを終えて、1月7日から後期後半がスタートしました。

休みの間、横浜は穏やかな天候に恵まれました。元気に、充実した毎日を過ごせたのではないかと思います。また、一年の計は元旦にありといわれますが、今年目標や願いなども話題にできたことと思います。

さて、お正月は大勢で食事をする機会も多くあったことでしょう。

食事の前に「いただきます」と言って食べ始め、食べ終わったら「ごちそうさまでした」と言って箸を置くことは、日本では常識になっています。

それは、「料理をしてくれた人への感謝」「食材を生産してくれた人への感謝」「見えないところでかかわってくれている人への感謝」「生きていて、こうして食事ができることへの感謝」、そして「そのおおもとになっている自然の恵みや生命への感謝」等々の素直な気持ちが、「いただきます」と「ごちそうさまでした」に集約されているのだと思います。レストランでお金を支払っているにもかかわらず、「いただきます」「ごちそうさま」を言う人が多いのも、上のような意味合いがあるということです。自分で料金を払っているから言わなくてよい、ご馳走されたときだけ「いただきます」「ごちそうさまでした」をするという軽薄なものではないのです。

学校では、給食がほとんど毎日行われています。自然な姿で「いただきます」が言え、程よい大きさの声で会話ができ、そして、ああおいしかった「ごちそうさまでした」と締めくくれる子どもを育てたいと思っています。

本年も本校の学校教育活動に、どうぞご支援ご協力をお願いいたします。